

保育おおさか

平成18年12月1日 第376号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

あゆんだ道に“光”

○厚生労働大臣表彰（社会福祉事業従事者）

吉田千恵子（牧野保育園）

○厚生労働大臣感謝状受賞者

太田垣貞子（藤森保育園）

村川早苗（寝屋川めぐみ保育園）

圓山八恵子（五月橋保育園）

明杉恵理子（池田保育園）

武田三恵（大仙保育園）

信下由子（あいぜんの徳保育園）

竹谷久子（むぎの穂保育園）

坂岸教子（阿武山たつの子保育園）

奈須みほ子（星光保育園）

藪田裕美子（倉治保育園）

梶川克子（泉佐野えひろ保育園）

西本房江（船橋保育園）

浅田由起子（文化保育園）

小山よしえ（フタバ学園）

矢野宗子（浦堂保育園）

○全国保育協議会会長表彰

橋本満（あやめ保育園）

高山昌弘（春日保育園）

小谷明（泉北若竹保育園）

角谷洋子（津田保育園）

山中良子（この花保育園）

上野友子（池田保育園）

石川明子（北阪保育園）

河西清乃（日吉台保育園）

白川邦子（堺めぐみ保育園）

○全国社会福祉協議会会長表彰（功労）

宗形昭男（小野原学園）

大東真理子（弥刀さつき保育園）

一木敬子（鈴ノ宮保育園）

勝田旭（川添保育園）

藤井紀代子（あひる保育園）

亀井裕美子（御池台保育園）

小原昇三（かんらん保育園）

岡山豊子（長尾保育園）

森田重勝（郡戸保育園）

上田進（星光保育園）

岩橋美恵子（明善保育園）

小谷順子（つぼみ保育園）

寺田茂治（この花保育園）

○全国社会福祉協議会会長表彰（永年勤続）

熊井茂治（千里山やまて学園）

飯干信子（天の川保育園）

藪田裕美子（倉治保育園）

泉淳子（愛和保育園）

山嶋広美（春日保育園）

野坂まさえ（高井田保育所）

細田裕美子（坂門ヶ原保育園）

澤田須賀子（竹宝保育園）

宮永文子（ときわ保育園）

出原晶子（ネイチャーランド東山）

寺田加代子（この花保育園）

烏野文子（この花保育園）

重里明子（星光保育園）

菊本美佐子（彩都保育園）

三枝暁美（藤の里保育園）

宮崎陽子（国松保育園）

南森和子（本町保育園）

津呂利江（稲田保育所）

高山昌弘（春日保育園）

赤塚容子（葛城保育園）

白川邦子（堺めぐみ保育園）

齊藤恵子（ときわ保育園）

島森ムラ子（貝塚中央保育園）

内田裕子（光陽保育園）

山中良子（この花保育園）

浜田典子（この花保育園）

橋本裕子（星光保育園）

いよいよ本格実施 —認定こども園 大阪府条例—

「認定こども園」制度を定めた法律と、認定の基準を定めた大阪府の条例がこの10月から施行され、就学前の子どもへの教育・保育と地域の子育て家庭への子育て支援を総合的に提供する「認定こども園」制度が、いよいよ本格的に実施されます。

大阪府の条例には認定の基準として、①職員配置、②職員資格、③施設設備、④教育・保育の内容、⑤保育者の資質向上等、⑥子育て支援事業、⑦管理運営等、⑧設置者（府基準）、と8つの項目がとりあげられており、その他、これらの基準をより具体化した審査基準

大阪府からの資料によれば、保育所（私・公）と幼稚園（私・公・国）の大阪府内全体の今年度当初の充足状況は保育所が102%、幼稚園が76%となっており、保育所への待機児童が多数いる一方で、幼稚園は定員割れを起こしている状況です。認定こども園実施については、保育所、幼稚園ともに今年度は法律や条例の内容などを検討している様子です。19年度には認定こども園を希望するところは実施に向けて動きだそうとしています。

保育制度改革は認定こども園とともに大波小波でやってきます。今後始まるであろう直接契約の導入、直接補助方式への転換についても念頭におき、認定こども園制度を見据え、保育所が果すべき役割を考えていくことが必要です。そして、保育所は養護とともに教育も行っている施設であり、保育の質の向上や行政との連携にも努めていることを、今以上に社会に認識されるよう、私たちが一丸となつて示していくことが急務となつてきているのではないのでしょうか。

「しっかりと親からそう言われたことを思い出す。その言葉の重みは、子どもの時はわからない。ただ、人に親切にする親の姿を見たり、時には厳しく、また、やさしく論じたりと、いろんな場面を身近に接してきた気がする。」

人は必ず死ぬ。「父さんも母さんもいつまでも生きてへんで！」

「わが子が自立していくために、いろんな人とのかわりを持つことを教えられた。」

小学校の恩師の印象深いことはを思い出す。「働くとは？自分が働くことによって、側（はた）を楽にするんやで」と教えられた。

人と人とのふれあいの大切さは、私たち保育者が子どもや親に使命として伝えなければならぬ。大切なものは、目には見えない。心で見なければ：昔読んだ「星の王子様」をふと思い出す。人肌恋も大切です。（M・H）



第50回 全国保育研究大会 ―福井―

地域をなげける子育て支援

50回目をむかえた全国保育研究大会が、平成18年10月25日～27日の3日間、福井県福井市のフェニックスプラザ及び市内のホテルで全国から約1600人の保育関係者が集い開催された。



今年「保育所がすすめる次世代育成―地域に広げる子育て支援―」をメインテーマに講義、研究発表が展開された。フェニックスプラザで行われた全国大会は、福井県勝山市の保育園の園児と保育士による「左義長太鼓」(写真上)のオー

プニングで開幕した。園児たちは、みごとに躍動感とほほえみさで会場を魅了していた。

開会式は、福井県社会福祉協議会の関捨男会長の挨拶に始まり、児童憲章朗読、物故者への黙祷のあと、全国保育協議会の小川益丸会長などが主催者を代表し挨拶。

その後、福井県の西川一誠知事など来賓からの祝辞をいただき、厚生労働大臣感謝状、全国保育協議会会長表彰授与式が行われた。(写真下)

祝電披露のあと、全国保育協議会の伊東安男副会長らによる主旨説明と大会アピールがあった。行政説明として、厚生労働省雇用均等・児童家庭局堀内宏秋室長補佐から、保育施策の動向と



「認定こども園」についての説明があった。

2期にわたるエンゼルプランの実績として数字的目標は達成したが、少子化には、はじめがなかなかない現状や出生率低下の社会的背景に触れ、新しい少子化対策として、①全家庭を対象とする地

域における子育て支援拠点の拡充②待機児童ゼロ作戦のさらなる推進③病児・病後児保育・障害児保育の拡充④就学前保育についての保護者負担の軽減策の充実などの施策がとられていることを説明された。生命を次世代に伝え育んでいくことや家族の大切さが理解されることを含めて社会全体の意識改革が必要であることを話され、最後に「認定こども園」の機能と財政措置などについて説明をされた。

その後、全国保育協議会、小川益丸会長が子どもをめぐる社会の状況、全保協の取り組みについて基調報告をされた。

その中で、保育の質を高め、子育て家族の支援をする。また地域での連携と協働を広げること、子育てを価値あるものとする文化・環境・世論を社会全体で築き、制度・施策や財源などを研究した上での仕組みづくりに取り組んでいくと報告された。

2日目は、11分科会に分かれて、研究発表後、講義や熱心な討議が行われた。

れた。

最終日には、「生きる、いのちの尊さ」と題して、福井県越前市地藏院住職松野宗純氏を招き、記念講演が行われた。柔らかな口調の中にも、厳しい社会を生き抜いてこれだけ重みがあり、参加者は、深く聞き入っていた。人格形成における家庭教育の大切さや親の役割など大変有意義な講演であった。人は、「生きている」のではなく「生かされている」という謙虚さが必要だというお話や子どもの個性を見つけ、伸ばす

ことができる保育という職業はすばらしいというお言葉は心に沁みるものであった。

閉会式は、次期開催地の北海道保育協議会、宮川恵秀会長による挨拶と全国保育協議会、上村清一副会長の閉会の言葉で全国大会の幕を閉じた。

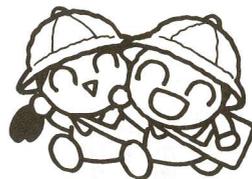
小児科医が書いた
『知っておきたい、病氣とケガの対応』

子どもは病氣やケガをしながら大きくなる。リーフレットの販売を受付けます。

@100円(税・送料込)

ご希望の方は必要事項(書籍名・希望数・園名・担当者名・住所・電話番号)をご記入のうえ、FAX(06・6761・7682)で(社)大阪小児科医学会までお申し込み下さい。

リーフレットに関するお問い合わせ先
(社)大阪小児科医学会
06・6761・7613



河内ブロック 畑はみんなの台所だ

大地の恵みで食育を

土の感触を楽しみながら収穫し、持ち帰った野菜は家庭で料理をしてもらい食卓に並んでいます。子どもたちも自分で採った野菜となると喜ばずに



当園では、食育として園の畑で野菜（玉ねぎ・じゃがいも・さつまいも）を作って4・5歳児の子どもたちは、太陽の恵みをいっぱい浴びた野菜を



園のテラスではプランターでミニ栽培もしています。ミニトマト、きゅうり、オクラ、芽キャベツを子どもたちが植え水をやり育てています。自

はいられません。また、特別おいしく感じるように「おいしい！」と、にぎやかな声や、頑張った野菜を採った時の話など食卓に会話の華を咲かせています。家庭だけではなくお友達同士でもどんな料理をして食べたかなど楽しそうに会話をする姿も見掛けられます。0歳児から3歳児までは、畑で採れた野菜も給食として出しています。皆とてもおいしそうに食べています。

野菜を食べた時の子ども表情は言うまでもありません。自然とこぼれる笑い、クラスの雰囲気も一段と明るく変わります。野菜が苦手な子どもから

分たちで育てることにより、野菜に親しみを持ち、少しずつ大きくなる野菜に喜びを感じているようです。水をあげたり葉っぱを間引いたりして野菜の世話をしている段階できれいな黄色い花が落ちてきゅうりになり、青かったトマトが赤く変化し、せっかく芽を出したキャベツが虫に食べられたりと子どもたちにとってはビックリすることばかり。やっとの思いで育てた野菜を食べた時の子どもの表情は言うまでもありません。自然とこぼれる笑い、クラスの雰囲気も一段と明るく変わります。野菜が苦手な子どもから

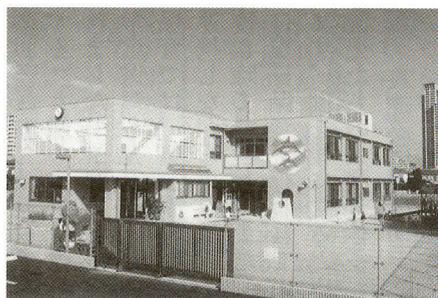
楽しい食育をしています。さくら保育園 M・T

「おいしい！」と嬉しい声も聞けました。また、園庭開放でも食育として、給食を出しています。給食の先生がレシピを紹介したり、食に対するいろいろな質問に答えています。参加される方も、たくさんの人たちと一緒に給食を食べることにより、会話もはずみとても楽しい時間を過ごしています。これからも子どもたちが食に対する興味を持ち、食を通して笑顔が増え、食を食べることが楽しみの一つとなるように、明るく楽しい食育をしています。

北大阪 老朽改築を終えて 船橋 保育園

平成17・18年度の2か年事業として移転増改築事業を行いました。旧舎は昭和48年に開園して33

年を経過しておりました。鉄骨造でもあったので老朽化が激しく、待機児童の解消のため定員増をするにも敷地が狭く、また第1種低層住居専用地域であったため3階建てにも出来ず、移転をしなければ建替えが出来ませんでした。旧園舎敷地よりも広いスペースで、しかも在園児が通える距離など制約もたくさんあった



イルカの保育園

なか、今の敷地に決定いたしました。補助金が次世代育成支援対策施設整備になったことなどにより設計変更をしなければならなかったなど、いろいろな苦労がありました。新園舎の設計においては設計士さんと一緒に他の保育園を見学し、子どもの安全を最優先に考えて床は出来るだけ段差の

少ない構造にして0・1・2歳の保育室の床は塩ビシートの下にクッション材を入れて少しやわらかくし床暖房を設置しています。さらに、保育室内はどの部屋も自然光をいっぱい採り入れることが出来るように窓を大きくとりましたが、冷暖房の効率を考えると窓はすべてペアガラスを使用しておいて快適に過ごせる空間を創

造していただきました。移転先の問題で大変苦労をしましたが、今こうしてたくさん子どもたちが元気に楽しく通園してくれるのを見て、思っていた以上の保育園が出来たと満足しています。そして、この保育園がより一層、地域に根ざした保育園となるよう職員とともに努力したいと思っています。

ブロックだより

堺ブロック50周年式典



11月18日、堺市民間保育園連盟が50周年を迎えるにあたり、市長、国会議員を始めとする行政関係者や保育関係者約900人が出席のもと記念式典が盛大に行われた。

永野治男会長は、挨拶の中で50年の歩みとその苦労を紐解きながら、関係各位に感謝の辞と新たな決意を述べ

られた。また永年の功勞者として、中辻利夫氏と柳川落穂氏に涙ながら感謝状を贈呈された。



河内ブロック 給食・調理研修

東大阪研修部会で給食

調理研修が10月27日、大阪国際大学短期大学部家政科・淡川節子助教授を講師に迎え、東大阪大学において開かれた。

今回は、「食育パートⅡ―アレルギー児への食育も含めて」というテーマで、現代の子どもの食生活の問題点や、低蛋白米・粟醤油などのアレルギー食品を使って調理実習が行なわれ、とても勉強になった研修でした。(さわらび保育園 K・H)

保育園をたずねて

345

摂津市
千里丘愛育園

摂津市北部にある吹田市に隣接した千里丘愛育園は、昭和25年に開園した定員150人の保育園です。

千里丘陵の裾野で、大きな「きりん」の門は、保育園のシンボルで、親しまれていました。平成16年の増改築の折、「きりん」は新しくメタリックなオブジェ風になりました。今もやさしく子どもたちを見守っています。

高岡國土理事長は、



いっぱい入れるぞ!!

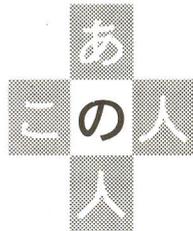
「男女共同参画型の実現に向けて、また、地域における子育て支援に貢献する」と園の方針を語られました。子育て支援や学童保育も充実し、延長保育では、第二愛育園と連携しながら平日は、午後9時までとし、また、日祝日保育も行われています。園を後にするとき園児たちの人気者体長45cmの「ケズメリクガメ」がのっそりと見送ってくれました。

優勝 施設従事者体育祭 —南大阪ブロック



施設従事者体育祭が11月19日に松下体育館でありました。徒競走・パン釣り競争・〇×クイズなど、楽しい種目がたくさんあるなかで、特に盛り

保育部会にはご承知のように、6ブロックがある。その中の南大阪ブロックは7市1町1村にまたがっている。大野台保育園の宮武勲会長の下で45か園がともよくまとまっています。中でも若手の先生方の運営研究委員会があって、坂門ヶ原保育園の齋藤委員長を中心に活動をしている。



先日のご共済会の運動会の応援合戦も、ブロックの当番が早くなったにもかかわらず、50人の保育士の皆さんが参加して演技を行った。天野山保育園の中島一さん松の木保育園の松井秀樹さんが、今回のまとめ役をされた。結果は見事優秀賞を頂いた。大変まとまった仲の良いブロックであることは間違いない。

上ったのが50(女)対30(男)で行われた綱引きです。男性有利と思われたなか、女性が見事に粘り勝ちとなり、観客席からも大きな拍手が送られていました。恒例となった応援合戦には私たちも参加し、良い経験をさせて頂きました。

また、対抗リレーでは永野治男保育園会長と宮武勲会長(南大阪ブロック長)が参加され、一丸となった保育の強さ、勇ましさを感じられました。そして、保育が見事優

発行所
大阪市中央区寺1丁目1-54
大阪府社会福祉協議会
保育部会
TEL (06) 6762-9001
発行人 男 勝
永野 治
水 編 集
崎

お詫び(11月号)
375号4面下2列左9行、懇談会→懇親会に訂正しお詫び申し上げます。

勝。応援パレードでも優秀賞を頂くことができ、他の職種の方たちと交流しながら、心一つにして楽しめる行事となりました。(柳風台保育園 Y・H)